

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和3年7月5日(月) 13時25分～14時35分	開催場所	会議室(オンライン)
出席委員	<p>人数：7人 委員氏名(役職) 高田 幸典氏(大崎上島町長) 森下 秀月氏(大崎上島商工会 会頭) 坪谷ニューエル郁子氏(東京インターナショナルスクール 理事長)※オンライン 改発 祐一郎氏(東京都立国際高等学校 市民講師)※オンライン 草原 和博氏(広島大学大学院人間社会科学研究科 教授)※オンライン 中谷 哲士氏(PTA 会長) 福嶋 一彦(広島叡智学園中学校・高等学校 校長)</p>		
会議の概要	<p>○会長及び副会長選出 会長に草原委員，副会長に中谷委員が全会異議なしで選出・可決された。</p> <p>○学校経営計画(経営目標，行動計画等)の説明 本校から，学校経営計画の項目に従い，国際バカロレア，主体的・対話的で深い学び，寮生活など，本校の教育活動について説明を行った。</p> <p>○各委員からの発言(コメント) ・人事異動で，IBの専門性を身に付けた教員が異動しても教育活動の質を維持してほしい。 ・IBの公式ワークショップは，「探究型とは何か」といった基本的事項については知識として持っていることを前提に進められる。よって，基本的事項を校外外で計画的に研修することが望ましい。 ・情報として，次の2つの点をお伝えしたい。1つは，岡山大学が80名を超えるIB修了生を受け入れていること，また2つ目は，第12次教育再生実行会議においてIBの卒業生が優秀であると認められたことである。このようなことに自信を持って今後も取り組んでほしい。楽しみにしている。 ・大崎上島町では，「ゼロカーボンシティ」を宣言し，カーボンリサイクル事業を推進している。この町で人々がどのように生活していくかという観点で本校生徒の提言を期待している。町をフィールドに研究し成長してほしい。 ・本日の会議で，学校の計画や取組の状況について理解した。町内のそれぞれの地域で活動する場面では，協力をしていきたいと考えている。</p> <p>(質問) ・高等学校段階のDP開始を見通し，本校ならではの学習活動の具現化に向けて，どのように考えているか。 →(学校の回答)本校では生徒全員がDPを履修することと，高校から外国人留学生を受け入れることが，特徴的な学習活動につながるものとする。生徒がDPの教科を選択するだけでなく，どの言語で学ぶかについても選択できるようにする。このような取組により，授業や言語の多様性がもたらされると考える。 ・寮則の改訂についてどのように考えるか。 →(学校の回答)現在，寮のユニットリーダーを中心に，生徒が主体的に寮則の見直しに取り組んでいる。その際，話し合いの場に生徒だけでなく，必ず職員も参加し，一定のルールを決めて議論できるように工夫している。</p> <p>以上，委員から貴重な御意見等をいただいた。</p> <p>学校経営計画については，全会異議なしで承認された。 本校としては，委員からの御意見等を今年度の学校運営に活かしていく所存である。</p>		
次回開催予定日	令和3年9月末		